



2023年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社ファイバークート

上場取引所 東 札

コード番号 9450 URL <https://www.fibergate.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 猪又 将哲

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営企画本部長 (氏名) 濱渦 隆文 (TEL) 011(204)6121

定時株主総会開催予定日 2023年9月27日 配当支払開始予定日 2023年9月28日

有価証券報告書提出予定日 2023年9月28日

決算補足説明資料作成の有無：有（決算補足説明資料は、適宜、当社ホームページに掲載いたします。）

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期の連結業績（2022年7月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	12,795	20.4	2,320	40.4	2,290	42.8	1,482	38.1
2022年6月期	10,624	25.1	1,652	6.0	1,604	3.9	1,073	5.3

(注) 包括利益 2023年6月期 1,483百万円 (38.0%) 2022年6月期 1,074百万円 (5.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年6月期	72.70	72.58	37.2	17.7	18.1
2022年6月期	52.60	52.52	30.9	14.3	15.6

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期	12,764	4,758	36.8	230.12
2022年6月期	13,087	3,279	25.1	160.74

(参考) 自己資本 2023年6月期 4,696百万円 2022年6月期 3,279百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年6月期	4,296	△2,189	△2,027	2,382
2022年6月期	2,295	△2,626	436	2,303

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年6月期	—	0.00	—	4.50	4.50	91	8.5	2.6
2023年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00	204	13.8	5.1
2024年6月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00		12.1	

(注) 2023年6月期期末配当金10.00円の内訳は普通配当8.00円、創業20周年記念配当2.00円であります。

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,710	7.1	2,530	9.0	2,520	10.0	1,680	13.3	82.31

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 新規 ー社 (社名) ー 除外 ー社 (社名) ー
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期	20,591,200株	2022年6月期	20,591,200株
② 期末自己株式数	2023年6月期	181,172株	2022年6月期	191,744株
③ 期中平均株式数	2023年6月期	20,398,817株	2022年6月期	20,411,050株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年6月期の個別業績（2022年7月1日～2023年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	10,753	20.5	1,958	52.4	1,942	53.9	1,426	67.5
2022年6月期	8,921	9.4	1,284	△1.1	1,262	△1.7	851	0.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期	69.92	69.81
2022年6月期	41.71	41.65

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
2023年6月期	11,290		3,784	33.3		184.45
2022年6月期	10,233		2,411	23.6		118.22

(参考) 自己資本 2023年6月期 3,764百万円 2022年6月期 2,411百万円

2. 2024年6月期の個別業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	12,560	16.8	2,180	12.2	1,440	1.0	70.55

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況（5）今後の見通し」などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年8月15日（火曜日）に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

※ 自己株式に関する情報

当社は、2023年6月期連結会計年度末181,172株を連結財務諸表において自己株式に含めて計上しております。したがって、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定するための期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
 (2023年6月期連結会計年度192,383株)

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
(5) 今後の見通し	5
(6) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものであります。

(1) 当期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円、銭)
当連結会計年度	12,795	2,320	2,290	1,482	72.70
前連結会計年度	10,624	1,652	1,604	1,073	52.60
前年同期増減率(%)	20.4	40.4	42.8	38.1	38.2

当連結会計年度(2022年7月1日から2023年6月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症は5類感染症へ移行がなされ、外国人観光客の増加や各種イベントの開催が再開されつつあります。一方で国際情勢の不安や円安による物価高騰の影響があり、引き続き予断を許さない状況が続いております。

このような状況下で当社グループは、2023年3月17日に中期経営計画を発表しております。当該中期経営計画における中期ビジョン実現のため、Step1「すべての施設にWi-Fiを」、Step2「通信・再エネが作る未来インフラの実現」の2つのステップを軸に中期経営目標の達成に取り組んでまいります。

当連結会計年度において、ホームユース事業は導入戸数が50万戸を突破、パートナー企業様も250社を超えました。特に新築案件の業績への貢献や利益率の高い案件の受注が進んでおります。そのため半導体不足や円安による機器の製造コストや回線利用料のコスト増加影響はあるものの、利益率も順調に推移いたしました。

ホームユース領域のマーケットは依然として開拓余地の大きい市場であり、IoT等のスマートホーム需要に対応したサービス等の新サービスの拡充も今後はさらに加速してまいります。

以上の結果、セグメント売上高9,600百万円(前年同期比17.9%増)、セグメント利益2,970百万円(前年同期比28.1%増)と増収増益になりました。

ビジネスユース事業におきましては、新型コロナウイルスによる影響も沈静化しつつあるため、商業施設向けWi-Fi、バスなどの交通機関向けWi-Fi、ホテル等の観光施設やイベント等の屋外向けWi-Fiサービスが回復傾向にあります。

また子会社である株式会社FG-Labでは得意先ごとの個別要望に対応した機器の開発案件を受託、当該機器の販売を行っております。

以上の結果、売上高1,512百万円(前年同期比21.5%増)、セグメント利益289百万円(前年同期比23.0%増)と増収増益になりました。

不動産事業におきましては、株式会社FGスマートアセット及び株式会社TMアセットにおいて不動産売買が業績に寄与いたしました。

以上の結果、売上高1,674百万円(前年同期比35.2%増)、セグメント利益136百万円(前年同期比130.5%増)と増収増益になりました。

その他事業におきましては、株式会社オフグリッドラボにおいて太陽光パネルの販売等がありました。

以上の結果、売上高は8百万円(前年同期は0百万円)、セグメント利益は1百万円(前年同期は△7百万円)となりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高12,795百万円(前年同期比20.4%増)、営業利益2,320百万円(前年同期比40.4%増)、経常利益2,290百万円(前年同期比42.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,482百万円(前年同期比38.1%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

	前連結会計年度末	当連結会計年度末	増減率 (%)
総資産 (百万円)	13,087	12,764	△2.5
純資産 (百万円)	3,279	4,758	45.1
自己資本比率 (%)	25.1	36.8	46.9
1株当たり純資産額 (円)	160.74	230.12	43.2
借入金の残高 (百万円)	6,500	4,622	△28.9
社債の残高 (百万円)	150	50	△66.7

(資産)

当連結会計年度の総資産は、前連結会計年度末比322百万円減少の12,764百万円となりました。これは固定資産が146百万円増加したものの、流動資産が468百万円減少したこと等によるものであります。

流動資産の減少は、現金及び預金が78百万円、売掛金210百万円、契約資産が19百万円増加したものの、販売用不動産が771百万円減少したことによるものであります。固定資産の増加は当社通信サービス提供用の通信設備が995百万円増加したものの、建物が377百万円、土地が209百万円、のれんが102百万円及び繰延税金資産が77百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度の負債合計は、前連結会計年度末比1,802百万円減少の8,005百万円となりました。

これは主に、契約負債が320百万円、短期借入金が418百万円及び長期借入金（1年内返済予定含む）が1,460百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度の純資産合計は、前連結会計年度末比1,479百万円増加の4,758百万円となりました。これは主に利益剰余金が1,390百万円、非支配株主持分が42百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	前期	当期	増減率 (%)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,295	4,296	87.2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,626	△2,189	△16.6
財務活動によるキャッシュ・フロー	436	△2,027	—
現金及び現金同等物の増減額	107	78	△26.6
現金及び現金同等物の期首残高	2,196	2,303	4.9
現金及び現金同等物の期末残高	2,303	2,382	3.4

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は2,382百万円となり、前連結会計年度末比で78百万円増加しました。

当連結会計年度の各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により得られた資金は4,296百万円（前連結会計年度は2,295百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が2,171百万円及び減価償却費1,442百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動により使用した資金は2,189百万円（前連結会計年度は2,626百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が2,413百万円及び有形固定資産の売却による収入254百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により使用した資金は2,027百万円（前連結会計年度は436百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入が728百万円となった一方、長期借入金の返済による支出が2,188百万円、社債の償還による支出が50百万円あったことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年6月期	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期
自己資本比率 (%)	38.8	39.1	25.1	36.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	440.6	333.6	148.2	237.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.8	2.6	2.9	1.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	94.7	91.3	93.2	146.4

自己資本比率 : 自己資本／総資産
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている短期借入金、長期借入金（1年以内返済分を含む。）、社債（1年以内返済分を含む。）およびリース債務（1年以内返済分を含む。）を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、成長投資による業績拡大を目指すとともに株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つとして捉えております。株主の皆様に対する利益配当につきましては、前年の配当性向以上を目処とし、業績に連動した利益還元を目指しつつ安定的な配当の維持に努めてまいります。

以上を踏まえ、当連結会計年度末時点の株主様に対し、保有株式1株当たり普通配当8円、創立20周年記念配当2円の合計10円の期末配当を実施いたします。

次期の配当につきましては上記基本方針に基づき、1株あたり5円の間配当及び1株あたり5円の期末配当を予定しております。

(5) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、ホームユース事業が引き続き安定的な成長を見込んでおり業績に大きく貢献する見込みです。ビジネスユース事業は先行指標であるフロー収入の増加により、2024年6月期は全セグメントのなかでもっとも高い成長を見込んでおります。不動産事業は案件端境期に入るものの、その他事業である再生可能エネルギー(電力)事業は通期の黒字化を想定しております。

一方で人員増加などにより本社費は増加する見込みであります。

現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、連結の業績予想を算定いたしました。

(連結業績の見通し)

(単位：百万円)

	2023年6月期実績	2024年6月期予想	増減	増減率(%)
売上高	12,795	13,710	914	7.1
営業利益	2,320	2,530	209	9.0
経常利益	2,290	2,520	229	10.0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,482	1,680	197	13.3

(連結セグメント別売上高の見通し)

(単位：百万円)

セグメント		2023年6月期実績	2024年6月期予想	増減	増減率(%)
Wi-Fi 事業	ホームユース事業	9,600	11,020	1,419	14.8
	ビジネスユース事業	1,512	1,860	347	23.0
不動産事業		1,674	800	△874	△52.2
その他		8	30	21	248.8
合計		12,795	13,710	914	7.1

以上の背景により、当社グループの2024年6月期は、売上高13,710百万円、営業利益2,530百万円、経常利益2,520百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,680百万円を予想しております。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。同日に公表致しました決算説明資料をご参照ください。

(6) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,303	2,382
売掛金	1,375	1,585
契約資産	197	217
商品	654	635
販売用不動産	1,426	655
仕掛品	—	0
貯蔵品	0	0
その他	77	87
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	6,028	5,559
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	384	6
工具、器具及び備品（純額）	35	9
通信設備（純額）	5,549	6,544
リース資産（純額）	2	—
構築物（純額）	22	—
土地	209	—
建設仮勘定	0	3
有形固定資産合計	6,204	6,565
無形固定資産		
のれん	102	—
ソフトウェア	89	57
ソフトウェア仮勘定	20	21
水道施設利用権	2	—
無形固定資産合計	214	79
投資その他の資産		
投資有価証券	51	51
敷金	34	35
繰延税金資産	550	472
破産更生債権等	0	0
その他	2	1
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	637	559
固定資産合計	7,057	7,203
繰延資産		
創立費	1	0
社債発行費	0	—
繰延資産合計	1	0
資産合計	13,087	12,764

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	478	633
短期借入金	718	300
1年内償還予定の社債	50	—
1年内返済予定の長期借入金	1,832	1,096
リース債務	2	—
未払法人税等	181	515
契約負債	1,958	1,638
賞与引当金	80	86
株主優待引当金	32	—
株式報酬引当金	—	5
その他	310	409
流動負債合計	5,645	4,685
固定負債		
社債	100	50
長期借入金	3,950	3,226
繰延税金負債	75	—
退職給付に係る負債	36	44
その他	0	—
固定負債合計	4,162	3,320
負債合計	9,808	8,005
純資産の部		
株主資本		
資本金	494	494
資本剰余金	411	426
利益剰余金	2,572	3,963
自己株式	△200	△188
株主資本合計	3,277	4,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	1	1
その他の包括利益累計額合計	1	1
株式引受権	—	19
非支配株主持分	—	42
純資産合計	3,279	4,758
負債純資産合計	13,087	12,764

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
売上高	10,624	12,795
売上原価	5,785	7,054
売上総利益	4,839	5,741
販売費及び一般管理費	3,187	3,421
営業利益	1,652	2,320
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
保険解約返戻金	—	2
ポイント収入額	1	5
その他	0	1
営業外収益合計	2	8
営業外費用		
支払利息	24	29
為替差損	6	3
社債発行費償却	0	0
融資解約違約金	17	4
その他	0	0
営業外費用合計	50	38
経常利益	1,604	2,290
特別利益		
固定資産売却益	—	24
投資有価証券売却益	0	0
特別利益合計	0	24
特別損失		
固定資産除却損	19	33
減損損失	1	110
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	20	144
税金等調整前当期純利益	1,584	2,171
法人税、住民税及び事業税	417	686
法人税等調整額	92	1
法人税等合計	510	687
当期純利益	1,073	1,483
非支配株主に帰属する当期純利益	—	0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,073	1,482

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
当期純利益	1,073	1,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	1	0
その他の包括利益合計	1	0
包括利益	1,074	1,483
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,074	1,483
非支配株主に係る包括利益	—	0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			株式 引受権	非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合 計			
当期首残高	488	406	2,882	△100	3,677	0	0	0	—	—	3,677
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	△1,302	—	△1,302	—	—	—	—	—	△1,302
会計方針の変更を反映した当期首残高	488	406	1,580	△100	2,374	0	0	0	—	—	2,375
当期変動額											
新株の発行	5	5			10						10
剰余金の配当			△81		△81						△81
親会社株主に帰属する当期純利益			1,073		1,073						1,073
自己株式の取得				△100	△100						△100
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△0	1	1			1
当期変動額合計	5	5	992	△100	902	△0	1	1	—	—	904
当期末残高	494	411	2,572	△200	3,277	△0	1	1	—	—	3,279

当連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			株式 引受権	非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合 計			
当期首残高	494	411	2,572	△200	3,277	△0	1	1	—	—	3,279
当期変動額											
剰余金の配当			△91		△91						△91
親会社株主に帰属する当期純利益			1,482		1,482						1,482
連結子会社の増資による持分の増減		8			8						8
自己株式の取得				△4	△4						△4
自己株式の処分		6		16	22						22
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—	0	0	0	19	42	62
当期変動額合計	—	14	1,391	12	1,417	0	0	0	19	42	1,479
当期末残高	494	426	3,963	△188	4,694	△0	1	1	19	42	4,758

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,584	2,171
減価償却費	1,215	1,442
減損損失	1	110
固定資産売却益	—	△24
のれん償却額	5	21
株式報酬費用	—	48
社債発行費償却	0	0
固定資産除却損	19	33
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	16	6
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8	8
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	△32
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	24	29
売上債権の増減額(△は増加)	△140	△211
契約資産の増減額(△は増加)	△24	△19
棚卸資産の増減額(△は増加)	220	1,149
仕入債務の増減額(△は減少)	△21	145
契約負債の増減額(△は減少)	△119	△320
為替差損益(△は益)	△0	1
その他	58	132
小計	2,849	4,690
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△24	△29
法人税等の支払額	△529	△364
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,295	4,296
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△40	△0
投資有価証券の売却による収入	1	1
有形固定資産の取得による支出	△2,200	△2,413
有形固定資産の売却による収入	—	254
無形固定資産の取得による支出	△53	△29
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△331	—
敷金の差入による支出	△2	△2
その他	△0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,626	△2,189
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	644	△418
長期借入れによる収入	1,791	728
長期借入金の返済による支出	△1,764	△2,188
社債の発行による収入	100	—
社債の償還による支出	△160	△50
リース債務の返済による支出	△4	△2
自己株式の取得による支出	△100	△4
配当金の支払額	△81	△91
ストック・オプションの行使による収入	10	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	436	△2,027
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	107	78
現金及び現金同等物の期首残高	2,196	2,303
現金及び現金同等物の期末残高	2,303	2,382

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「流動資産」の「前渡金」及び「前払費用」は、金額的重要性が乏しいため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。また、独立掲記しておりました「流動負債」の「未払金」及び「未払費用」は、金額的重要性が乏しいため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動資産」に表示していた「前渡金」0百万円、「前払費用」61百万円、「その他」15百万円は、「その他」77百万円として組み替えております。また、前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動負債」に表示していた「未払金」192百万円、「未払費用」24百万円、「その他」93百万円は、「その他」310百万円として組み替えております。

(追加情報)

当連結会計年度において、一部の有形固定資産の保有目的を賃貸用から販売用に変更し、有形固定資産358百万円及び無形固定資産1百万円を販売用不動産に振り替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの事業構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

報告セグメントを識別するために用いた方法は、製品・サービス別であり、次の三つの報告セグメントであります。

- ① ホームユース事業
インターネット無料マンションの構築、保守、運営、サポート、PB提供等
- ② ビジネスユース事業
フリーWi-Fiの構築、保守、運営、サポート、PB提供等
- ③ 不動産事業
不動産の売買、賃貸等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務 諸表計上 額(注 3)
	ホーム ユース事業	ビジネス ユース事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,141	1,244	1,238	10,624	0	10,624	—	10,624
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	8,141	1,244	1,238	10,624	0	10,624	—	10,624
セグメント利益	2,318	235	59	2,613	△7	2,606	△953	1,652
セグメント資産	7,478	316	2,161	9,956	1	9,957	3,129	13,087
その他の項目								
減価償却費	1,168	9	8	1,186	0	1,186	28	1,215
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,870	37	283	2,191	2	2,193	88	2,282

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー(電力)事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△953百万円は、各報告セグメントに配分していない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額3,129百万円は各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余剰運用資金(現金及び預金)であります。
- (3) 減価償却費の調整額28百万円は報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額88百万円は報告セグメントに配分していない全社資産に係る固定資産の増加額であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務 諸表計上 額(注 3)
	ホーム ユース事業	ビジネス ユース事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,600	1,512	1,674	12,787	8	12,795	—	12,795
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,600	1,512	1,674	12,787	8	12,795	—	12,795
セグメント利益	2,970	289	136	3,396	1	3,398	△1,078	2,320
セグメント資産	8,625	366	655	9,647	1	9,648	3,116	12,764
その他の項目								
減価償却費	1,374	16	10	1,401	0	1,402	39	1,442
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	2,391	24	—	2,415	—	2,415	76	2,491

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー(電力)事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,078百万円は、各報告セグメントに配分していない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額3,116百万円は各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余剰運用資金(現金及び預金)であります。
- (3) 減価償却費の調整額39百万円は報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額76百万円は報告セグメントに配分していない全社資産に係る固定資産の増加額であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社 USEN-NEXT LIVING PARTNERS	1,846	ホームユース事業
積水ハウス不動産東京株式会社	1,086	ホームユース事業、不動産事業

当連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社 いちごオーナーズ株式会社	1,581	不動産事業
株式会社 USEN-NEXT LIVING PARTNER	1,996	ホームユース事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	ホーム ユース事業	ビジネス ユース事業	不動産事業	計	その他	全社・消去	連結財務諸表計上額
減損損失	—	1	—	1	—	—	1

当連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	ホーム ユース事業	ビジネス ユース事業	不動産事業	計	その他	全社・消去	連結財務諸表計上額
減損損失	24	5	80	110	—	—	110

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	ホームユ ース事業	ビジネスユ ース事業	不動産事業	計	その他	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	5	5	—	—	5
当期末残高	—	—	102	102	—	—	102

当連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	ホームユ ース事業	ビジネスユ ース事業	不動産事業	計	その他	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	21	21	—	—	21
当期末残高	—	—	—	—	—	—	—

【報告セグメントごとの負ののれんの発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
1株当たり純資産額	160.74円	230.12円
1株当たり当期純利益金額	52.60円	72.70円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	52.52円	72.58円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	1,073	1,482
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	1,073	1,482
普通株式の期中平均株式数(株)	20,411,050	20,398,817
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	28,903	33,313
(うち新株予約権(株))	(28,903)	(33,313)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。